



第1回実力テストの個票を配付しました

【令和5年度 第1回 実力テストの結果】

	国語	社会	数学	理科	英語	5教科
受検者数	1034	1033	1034	1033	1032	1032
全受検者平均点	66.4	47.3	57.9	47.1	66.4	285.3

結果を見て、「順位が何番だった」などということに一喜一憂するだけでは意味がありません。今回の結果を受けて、次のようなことを考えてほしいと思います。

1 弱点を具体的にを見つける。

配付した個票には、『設問別成績』『領域別成績』が記されています。これらを確認することで自分がどの分野・どの領域が得意、不得意かを確認することができます。例えば「理科が苦手」だけで終わらず、「理科の酸・アルカリが苦手」「理科の生物分野が得意」など、具体的に分析してみましょう。

設問別成績

出題内容	得点/配点	得点率(%)	
		本人	全体
1 説明的文章の読解	/35		42.1
2 漢字、四字熟語	/15		84.8
3 文学的文章の読解	/40		65.6
4 古典(古文)の読解	/20		63.0
5			

領域別成績

出題内容	正答数/設問数	正答率(%)	
		本人	全体
1 書くこと	/2		48.8
2 読むこと	/9		63.0
3 言語事項(知識・技能)	/7		70.5
4			

これを確認・分析しよう！

2 その対策を考える。

苦手な分野がどこであることを意識できたら、その克服のために何から始めるかを考えてほしいと思います。「しっかり勉強する」では抽象的な考えだと思います。「オームの法則を使った計算を復習するために2年生の時の理科の問題集をもう一度練習する。」とか、「一般動詞の否定文や疑問文の作り方を確認するために、1年生の英語の教科書を見直す。」と具体的な対策を考えてほしいと思います。どうしてもよいかわからない場合は担当教科の先生に質問しましょう！

3 わからない問題をそのままにしない。～もう一度問題を解いてみよう～

実力テストの問題用紙と模範解答を配付します。一度問題を解いたテストです。それを元に間違えた問題をもう一度解きなおしましょう！問題用紙にも解答を記録しておく、と、解き直しやすいと思います。今後のテストでは問題用紙にもどの解答を選んだのか書き残しておきましょう！



10月23日(月)からの個人懇談会では、第3回進路希望調査の内容について、実力テストの結果や1学期の成績、定期テストの結果等を踏まえて担任と懇談させていただきます。